

基本情報



【年 齢】
24歳
【出身地】
東京都町田市
【転出元】
東京都町田市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R6.11.1～

協力隊に応募したきっかけ

大学生時に地域社会学を専攻しており、地域問題解決の活動に興味がありました。現在大多喜町は若者が少ないという問題もあり、私が移住することによって何か地域貢献ができるのではないかと考えました。また東京では味わえない農作業を経験できるという事も魅力に感じ、農業業界の問題である担い手不足問題などの解決に大いに貢献できると感じました。問題解決の第一線で活動できると思い、応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

農業は5Kと言われているほどの職業になってきています。それが原因でもあり、担い手不足問題が農業業界で問題視されています。私たちが農業をすることにより、近い年齢層に農業の魅力を伝えていき、少しでもこの問題が解決に進めるような活動にしていきたいです。そして、農業と同じく大多喜町の魅力を伝えていき、観光客の増加そして若者など移住を決めてもらえるような活動をしていくことが目標です。

活動内容

●農作業

高齢化による農業の担い手不足、その影響により耕作放棄地の増加。この2点の問題を解決すべく、地主さんに耕作放棄地をお借りし、お米を耕作しています。お米作りの工程を先輩農家から、教えていただき。すべて行っています。トラクターや田植え機、刈払機、コンバイン等の機械操縦も行います。

活動内容が
分かる写真など

●竹林整備

農業と同じく、高齢化が進み放置竹林が増加。私たちは地主さんに放置竹林をお借りし、お米作り終了時から整備を行っています。整備することによって、獣害被害・災害時の危険性も減少します。そして、4月に大多喜名産であるタケノコを収穫できるように活動しています。

活動内容が
分かる写真など

●バスケットボール選手活動

普段は3人制プロバスケット選手として活動しています。地域の子どもたちにもスポーツを通じて何か学びを得てほしく、小学生・中学生を対象にしたバスケットボールスクールも行っています。また年中児・年長児を対象にした幼児運動教室も開催しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】大多喜町役場企画課
(メールアドレス) koryu@town.otaki.lg.jp
(電話番号) 0470-82-2165

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(株式会社JPFagri) <https://jpfagri.co.jp/exe>